HSBC Asset Management

HSBCグローバル・ターゲット利回り債券ファンド2026-03（限定追加型）

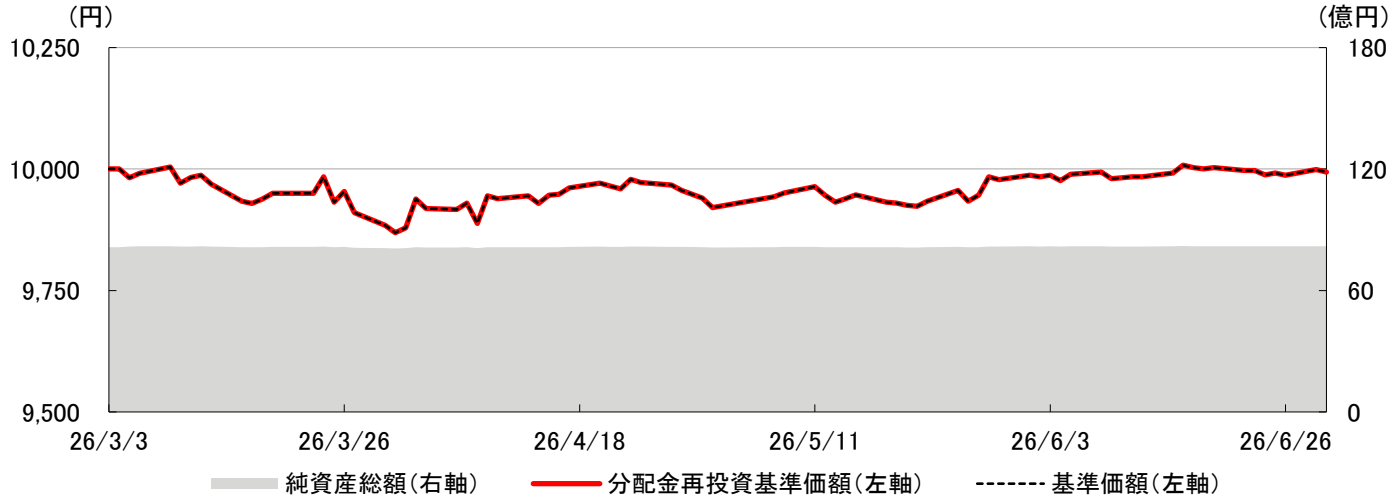
愛称：グロタ2026-03

追加型投信／内外／債券

月次レポート

作成基準日：2026年6月30日

基準価額と純資産総額の推移



＊基準価額は信託報酬（後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください）控除後のものです。分配金再投資基準価額は税引前分配金を再投資したものです。将来の分配金は、運用状況によって変化します。

商品概要（当資料発行日現在）

商品分類	追加型投信／内外／債券
設定日	2026年3月3日
信託期間	設定日から2031年4月15日まで
決算日	原則、4月15日／年1回決算
信託報酬	税込年0.638%

基準価額等

1万口当たり基準価額（円）	9,994
純資産総額（億円）	81.8

＊基準価額は信託報酬控除後のものです。

期間別騰落率(税引前)

1ヶ月	0.2%
3ヶ月	1.3%
6ヶ月	－
1年	－
3年	－
設定来	−0.1%

＊基準価額の騰落率は税引前分配金を再投資したものとして計算しています。

信託財産の構成

債券	98.6%
現金等	1.4%
合計	100%

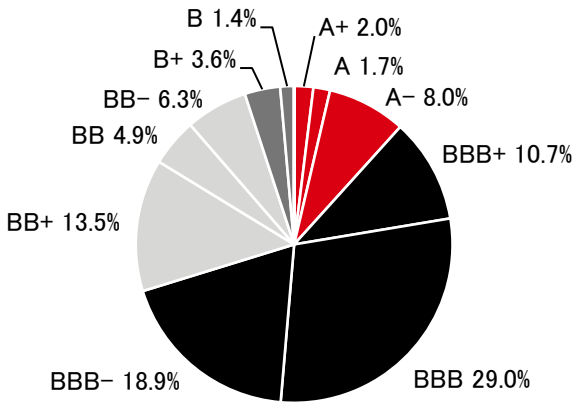
＊邦貨換算純資産総額に対する比率です。

税引前分配金の推移（1万口当たり）

決算期	分配金（円）
－	－
－	－
－	－
－	－
－	－
設定来累計	0

＊将来の分配金は、運用状況によって変化します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

格付別構成比率



＊現金等を除いた比率です。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

＊格付は、S&Pｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾚｰﾃｨﾝｸﾞ、ﾑｰﾃﾞｨｰｽﾞ、ﾌｨｯﾁの中から最高格付（債券格付がない場合は発行体格付）を採用しています。

*当資料のデータおよびコメントにつきましては、特に記載がない限り作成基準日時点のものとなります。

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

ポートフォリオの状況

	取得時ベース※1
平均最終利回り（為替ヘッジ前）	年　5.09%
為替ヘッジコスト*1（約5年）	年　2.09%
信託報酬（税込）*2	年　0.638%
実質の平均最終利回り（円ベース、信託報酬控除後）*3	**年　2.37%程度**

ポートフォリオの特性値

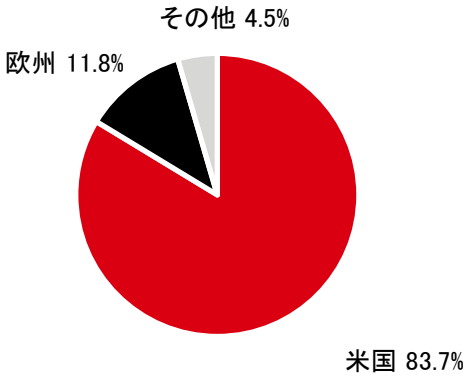
平均デュレーション	3.47年
平均格付	BBB-
組入銘柄数	114

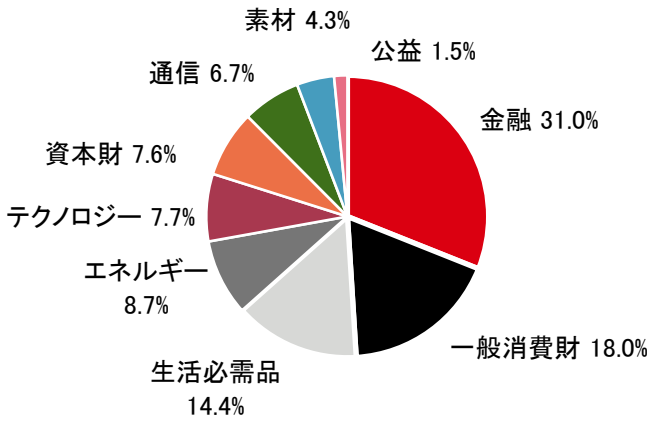
＊平均格付は、基準日時点においてファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドに係る信用格付ではありません。格付は、S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ、フィッチの中から最高格付（債券格付がない場合は発行体格付）を採用しています。

＊1 為替ヘッジコストは取引時点の数値です。
＊2 信託報酬の他にも、その他費用等がかかります。詳しくは後掲の「当ファンドの費用」をご参照ください。
＊3 ポートフォリオの実質の平均最終利回りは、確定値ではありません。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
・組入債券にデフォルト（発行体の破綻等）が生じた場合は、当該債券が額面未満での償還となる場合があります。
・組入債券の償還前に別の債券に入れ替えを行う際に、売却する債券の時価が購入価格を下回っていれば、損失が発生する場合があります。
・組入債券の満期償還や早期償還後は原則として別の債券に再投資を行いますが、再投資時点の金利水準および社債の市場環境等によっては、再投資する債券の利回りが当初の利回りよりも低くなる場合があります。

※1 ご参考情報：ポートフォリオ構築時の情報（2026年3月3日～2026年3月5日、HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インクによるデータ）であり、平均最終利回りは取得時点です。運用状況によりポートフォリオの状況が変わる可能性があります。

国・地域別、セクター別比率

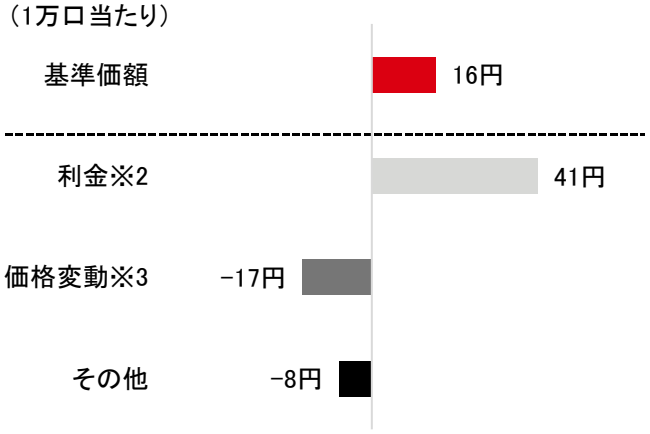




＊国・地域別、セクター別比率は現金を除いた実質的な比率です。セクターはブルームバーグの情報に基づき分類し、HSBCアセットマネジメントが和訳したものを記載しております。表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

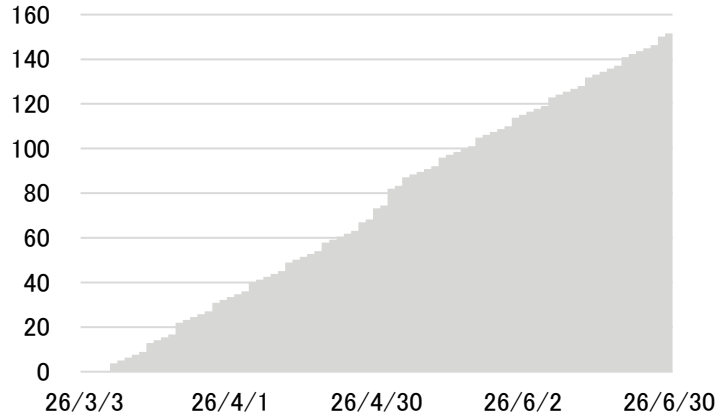
変動要因（前月末～作成基準日）

（1万口当たり）



利金※2要因の累積（設定日～作成基準日）

（1万口当たり、円）



※2 投資対象の債券から得られる経過利息を含む利金（外貨ベース）を円換算
※3 債券価格、為替ヘッジコストを含む為替レートの評価等による変動要因
＊上記は、T-STARのデータをもとに算出した基準価額の主要項目別変動の概算値であり、確定値とは異なります。

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

組入上位10銘柄

順位	発行体		概要			
	国・地域	セクター	最終利回り	償還日(年/月/日)	格付	組入比率
1	カーニバル		ホテル、ツアーを提供するクルーズ客船会社			
	米国	一般消費財	5.41%（4.98%）	2030/3/15	BBB-	2.0%
2	エアキャップ・アイルランド・キャピタル		航空機リース大手エアキャップの金融子会社			
	アイルランド	金融	4.96%（4.56%）	2030/9/30	BBB+	2.0%
3	住商エア・リース		航空機リース会社			
	米国	金融	5.03%（4.67%）	2030/12/1	BBB	2.0%
4	セブン-イレブン		コンビニエンスストアチェーン			
	米国	一般消費財	5.02%（4.49%）	2031/2/10	A-	2.0%
5	アボロン・ホールディングス・ファンディング		航空機の買収・管理・リース・販売大手			
	アイルランド	金融	5.14%（4.71%）	2030/10/10	BBB	2.0%
6	デル・インターナショナル／EMC		テクノロジー・ソリューション大手デルの金融子会社			
	米国	テクノロジー	4.84%（4.54%）	2031/2/15	BBB+	2.0%
7	アビエーション・キャピタル・グループ		航空機リース会社			
	米国	金融	5.07%（4.74%）	2030/10/24	BBB	2.0%
8	シンクロニー・ファイナンシャル		消費者金融サービス会社			
	米国	金融	5.44%（5.13%）	2031/3/6	BBB	2.0%
9	エアーキャッスル		航空機の買収・管理・リース・販売大手			
	米国	金融	5.14%（4.59%）	2030/9/15	BBB+	2.0%
10	アテネ・グローバル・ファンディング		保険会社アテネ・ホールディングの金融子会社			
	米国	金融	5.33%（4.89%）	2030/11/19	A+	2.0%

＊組入比率は現金を除いた実質的な比率です。
括弧内の最終利回りは取得時ベースにて償還日まで保有した場合と仮定した際の利回りです。
各銘柄の格付は、S&P グローバル・レーティング、ムーディーズ、フィッチの中から最高格付(債券格付がない場合は発行体格付)を採用しています。
発行体は、報道等の表記を参考にHSBCアセットマネジメントが翻訳しており、公式名称やその和文訳と異なる場合があります。
セクターはブルームバーグの情報に基づき分類し、HSBCアセットマネジメントが和訳したものを記載しております。

【運用状況】
当月末の時点での債券の組入れ比率は98.6%、時価ベースでの平均最終利回りは年5.44%、平均デュレーションは3.47年でした。
◆格付け別では、投資適格級債券が70.2%、ハイイールド債券が29.8%の配分となります。
◆国／地域別では、米国が83.7%、欧州が11.8%、その他が4.5%の配分となります。
◆セクター別では、金融、一般消費財、生活必需品などを中心とした組入れとしています。

【市場概況】
月前半は中東情勢の混乱が継続したものの、月後半には米国とイランが戦闘終結に向けた暫定合意の覚書に署名したことから、当月の社債市場のパフォーマンスは概ね横ばいでした。中東情勢の動向には引き続き注視が必要ですが、企業のファンダメンタルズは総じて安定しているうえ、社債の利回りは魅力的な水準にあるため、投資家からの強い需要が見込まれます。引き続き保有銘柄の財務内容の健全性やバリュエーションを常時モニタリングし、必要とあれば保有銘柄の入れ替え、配分の調整等を実施してまいります。
＊　将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

当ファンドの特色

1 世界各国（日本を含む）の企業等が発行する債券に投資を行います。

- 主としてファンドの信託期間終了前に満期償還や早期償還が見込まれる債券に投資します。
- 投資を行う債券については原則として取得時においてB格（B－）以上とし、ファンド全体の平均格付けを投資適格（BBB－以上）とすることを目指します。

※投資を行う債券の格付けについては、S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ、フィッチが付与した格付けの中から最高格付を採用します。格付けは、格付機関により異なるため、委託会社が投資適格と判断して投資した債券についても、格付機関によっては投資適格未満となる場合があります。

- 主に米ドル建ての債券に投資し、原則として各債券の満期日まで保有します。ただし、米ドル建て以外の債券に投資することがあります。

2 外貨建資産については、為替リスクを低減するために、原則として対円で為替ヘッジを行います。

- 為替ヘッジを行った場合でも、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

3 信託期間約5年の限定追加型の投資信託です。

- ファンドの信託期間は2026年3月3日から2031年4月15日までです。**ファンドの購入のお申込期間は終了しています。**
  なお、年1回の決算時（毎年4月15日、休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づき分配を行います。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

当ファンドの主なリスク

投資信託は元本保証のない金融商品です。また、投資信託は預貯金とは異なることにご注意ください。
当ファンドは、主に値動きのある有価証券を投資対象としますので、組入有価証券の価格変動あるいは外国為替の相場変動次第では、当ファンドの基準価額が下落し、投資者の皆さまの投資元本を割り込むことがあります。当ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

金利変動リスク	債券価格は、市場金利の変動等の影響を受けます。一般的に、金利が上昇すると債券価格は下落します。なお、その価格変動は、債券の種類、償還までの残存期間、発行条件等により異なります。
信用リスク	債券価格は、発行体の信用力の影響を受けます。債券等への投資を行う場合には、発行体のデフォルト（債務不履行）により投資資金が回収できなくなることや支払遅延等が発生する場合があります。一般的にハイイールド債は投資適格債と比較して、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。
為替変動リスク	為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。円金利がヘッジ対象通貨の金利より低い場合には、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。また、設定・解約に伴う資金動向、ヘッジタイミングおよび市況動向等により一時的にフルヘッジとならない場合があり、基準価額が下落する要因となります。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。
カントリーリスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または資本取引等に関する規制の変更や新たな規制が設けられた場合には、投資方針に沿った運用が困難になることがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
※上記のリスクをご理解いただき、投資の判断はご自身でなさいますようお願い申し上げます。

当資料のお取扱いにつきましては、後掲の「留意点」をご参照ください。また、投資信託のお申込みに際しては、「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧ください。

設定・運用：HSBCアセットマネジメント株式会社

お申込みメモ

ファンドの購入のお申込み期間は終了しています。

［詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。］

換金単位	販売会社が個別に定める単位とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目以降に販売会社でお支払いします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
申込受付不可日	日本国内の営業日であっても、ニューヨーク証券取引所の休場日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに該当する場合には、換金の申込受付は行いません。
換金の申込受付の中止および取消し	取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は換金の申込受付の中止および取消しを行う場合があります。
信託期間	2026年3月3日（信託設定日）から2031年4月15日（償還日）まで
繰上償還	ファンドの残存口数が20億口を下回った場合等には、当該ファンドの信託を終了させる場合があります。
決算日	毎年4月15日（休業日の場合は翌営業日） ※初回決算日は2027年4月15日
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合等は、分配を行わないことがあります。販売会社との契約によっては再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。
その他	基準価額（1万口当たり）は、翌日の日本経済新聞朝刊に「グロタ26-03」の略称で掲載されます。

当ファンドの費用

［詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。］

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	**ファンドの購入のお申込み期間は終了しています。**	
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額（換金時）	換金される投資者に換金で生じるコストを一部負担していただくものです。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	年0.638%（税抜年0.58%）	ファンドの日々の純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。ファンドの信託報酬は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。
（委託会社）	税抜年0.275%	ファンドの運用等の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	税抜年0.275%	分配金・換金代金の支払い、運用報告書等の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	税抜年0.030%	運用財産の管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
その他費用・手数料	ファンドの保有期間中、その都度ファンドから支払われます。 ・有価証券売買委託手数料／保管銀行等に支払う外貨建資産の保管費用／信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用等 ・振替制度にかかる費用／印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用／監査法人等に支払う監査報酬等（純資産総額に対し上限年0.20%（税込）として日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日、毎計算期末または信託終了のとき、ファンドから支払われます。） ※その他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率等を記載することができません。	

※ファンドの費用の総額については、投資者のファンドの保有期間に応じて異なるため、表記できません。

委託会社、その他関係法人

委託会社：HSBCアセットマネジメント株式会社

＜照会先＞ 電話番号 03-3548-5690（受付時間は営業日の午前9時～午後5時） ホームページ www.assetmanagement.hsbc.co.jp

投資顧問会社（運用委託先）：HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インク

受託会社：三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社：委託会社の＜照会先＞でご確認いただけます。

【留意点】

- 当資料は委託会社が運用状況の説明を目的として作成した資料です。当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務、情報の根拠となるデータなどについて公開する義務を一切負いません。
- 投資信託は預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。当ファンドの購入のお申込みに関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（クーリング・オフ）の適用はありません。

各種お手続きは

（商号・金融商品取引業者の登録番号・加入協会の順に表示、証券・銀行・保険毎　五十音順、2026年7月14日現在）

金融商品取引業者名	金融商品取引業者	登録金融機関	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(※)	○		関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行		○	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行（委託金融商品取引業者　三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社）		○	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○

※ 一般社団法人日本STO協会にも加入しております。